

JIS

金属材料の引張りラクセーション試験方法

JIS Z 2276 : 2012

(JISF)

平成 24 年 4 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	佐久間 健 人	高知工科大学
(委員)	磯 村 陽 治	一般社団法人日本鉄道施設協会
	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	宇 治 公 隆	首都大学東京
	大 岡 紀 一	社団法人日本非破壊検査協会 (社団法人日本溶接協会)
	太 田 幸 男	高压ガス保安協会
	北 田 博 重	一般財団法人日本海事協会
	吉 良 雅 治	社団法人日本産業機械工業会
	櫛 田 宏 一	JFE スチール株式会社
	小 林 美寿夫	ステンレス協会
	田 中 龍 彦	東京理科大学
	千 葉 光 一	独立行政法人産業技術総合研究所
	寺 澤 富 雄	新日本製鐵株式会社
	戸河里 敏	社団法人日本建設業連合会 (鹿島建設株式会社)
	長 井 寿	独立行政法人物質・材料研究機構
	橋 本 隆	公益社団法人自動車技術会 (日野自動車株式会社)
	安 田 素 郎	一般社団法人日本鉄鋼連盟

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 50.11.1 改正：平成 24.4.20

官 報 公 示：平成 24.4.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員長 佐久間 健人)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験の原理	2
5 試験装置	3
5.1 引張りラクセーション試験機	3
5.2 加熱装置	3
5.3 温度測定装置	4
5.4 伸び測定装置	4
6 試験片	5
7 試験方法	5
7.1 試験温度	5
7.2 負荷方法	5
7.3 温度、伸び及び試験力の測定方法	7
7.4 試験片断面積の測定方法	7
8 報告	8
8.1 試験結果報告書	8
8.2 記録	8
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	9
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 2276:2000** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

金属材料の引張りラクセーション試験方法

Method of tensile stress relaxation test for metallic materials

序文

この規格は、2010年に第2版として発行されたISO 15630-3を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。ISO 15630-3は、PC鋼棒及びより線に対する室温における引張りラクセーション試験方法だけを規定したものであり、この規格では、特に、室温を超える試験に対する、独自の規定を追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、一定の引張全ひずみ及び一定温度の条件の下で、金属材料の引張試験力（応力）のラクセーション〔試験力（応力）の時間的变化〕を測定する引張りラクセーション試験方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 15630-3:2010, Steel for the reinforcement and prestressing of concrete—Test methods—Part 3: Prestressing steel (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 この規格に基づいて試験を行う者は、通常の試験室での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7721 引張試験機・圧縮試験機—力計測系の校正方法及び検証方法

注記 対応国際規格：ISO 7500-1, Metallic materials—Verification of static uniaxial testing machines—Part 1: Tension/compression testing machines—Verification and calibration of the force-measuring system (MOD)

JIS B 7741 一軸試験に使用する伸び計の検証方法

注記 対応国際規格：ISO 9513, Metallic materials—Calibration of extensometers used in uniaxial testing (MOD)